

日本臨床細胞学会 細胞検査士会

子宮がん検診受診啓発活動  
＜子宮の日LOVE49キャンペーン＞

2022年度の報告・沖縄県

2022年12月23日

担当：那覇市医師会生活習慣病検診センター  
検査部 細胞診検査室 崎山三千代

## <子宮の日キャンペーン・街頭活動>

・新型コロナウイルス感染拡大のため、街頭活動は中止とした。

\* 以下、昨年同様に大学や専門学校の生徒を中心に配布活動を行った。

## <大学生等へ向けて活動>

- ・ 日時:①2022年4月8日 16～17時  
②4月15日、20日、5月6日 12:30～13:00 3日間  
③8月4日 16:30～17:00  
④9月8日 16:00～16:30 **合計6日間**
- ・ 場所・4施設(大学3・看護学校)  
①名桜大学 保健センター 300セット  
②琉球大学医学部保健学科 250セット  
③那覇看護専門学校 250セット  
④沖縄県立看護大学 200セット
- ・ 配布物:啓発グッズやパンフレット **合計 1,000セット**
  - ①子宮頸がんを考える市民の会作成リーフレット「2022 QUARTER LIFE」
  - ②細胞検査士会よりポケットティッシュ
  - ③生理用ナプキン5個(企業の花王より提供)
  - ④独自に作成した啓発チラシ「沖縄県にお住まいの女性の皆さん！」
  - ⑤那覇市より案内チラシ「受けようがん検診！」

- ・ 報告:①名桜大学 保健センターは、センター長の先生と職員さんへ渡し、生徒へ渡して頂くことになった。  
子宮の日(4月9日)からweb配信にて説明等を行っていた。  
また、センター長(病理医)が琉球新報の論壇に投稿し4月3日に掲載された(別紙)。
- ②琉球大学保健学科では、先生方のご協力により各講義の前に、  
「活動の趣旨や子宮がん、がん検診について説明」させて頂き、  
配布物を講義終了後、各自生徒に取って頂いた。
- ③那覇看護専門学校では、校長先生の協力で生徒の代表2名に配布物を渡した。
- ④沖縄県立看護大学では、校長先生と学生課担当教諭の先生へ配布物を渡し、  
生徒へ渡して頂いた。

\* 昨年まで3年間活動した沖縄女子短期大学の学生課課長より、  
「生徒や職員が関心を持ち、受診が大切な事が分かって良かった。」との報告を受けた。

- ・ 写真撮影:活動の様子を写真撮影した。(以下別ページ)
- ・ 参加人数(協力者):①沖縄県立北部病院・検査科2名(女性・男性)、那覇市医師会検診センター・細胞診検査2名(女性)  
②琉球大学病院・病理検査8名(女性4名男性4名)、  
中部地区医師会検診センター・細胞診検査3名(女性2名男性1名)、  
那覇市医師会検診センター・細胞診検査1名(女性)  
③友愛医療センター 6名(女性5名男性1名)  
④沖縄県立南部医療センター・検査科4名(女性3名男性1名) **合計のべ26名**  
\* 各施設長宛て、4月以降順次「協力要請文」を提出した。

### <子宮頸がんから女性を守る 市民公開講座>

・9月に、例年どおり沖縄県立博物館・美術館にて予定していたが、  
主催の沖縄産婦人科医会/沖縄県産科婦人科学会は、コロナ渦のため**中止にされた**。

\* 活動後、学会本部へ経費精算と報告をした。  
細胞検査士会渉外委員会委員長の(三宅真司)に写真を添えて報告した。

# 名桜大学 保健センター 4月8日





# 琉球大学医学部保健学科 看護コース 4月15日、4月20日



# 琉球大学医学部保健学科 検査技術コース 5月6日





# 那覇看護専門学校 8月4日



# 沖縄県立看護大学 9月8日





# <2023年度の計画案>

◎新型コロナウイルス感染拡大の収束状況によるが、  
困難な場合は2023年度同様に、街頭は中止し学生向けの活動のみとする。

- 活動日：街頭活動が可能であれば4月頃予定⇒事前に許可申請
  - 場所：サンエー那覇メインプレイス 店舗内  
または イオンモール ライカム等を検討する
  - 参加人数：女性20名、男性8名程度 のべ20～30名程度
  - 配布数：400セット（街頭）
  
  - 4月～7月：大学等にて活動 400セット
  - 市民公開講座：9月予定 200セット  
→沖縄県産婦人科医会・沖縄産科婦人科学会主催
- \* 予定が決まれば、**検査士への参加呼びかけや各施設長宛での協力要請文を開催前に送付をする。**